

間接補助事業の名称：産業間情報流通システム活用による蓄電池の価値最大化実証

<事業概要>

- ・静脈産業の事業開発において、別途開発される“日本版電池パスポート”を通じて、動脈産業が保持する情報を購入するシステムを開発し、事業生産性の向上だけでなく、産業全体への波及を行えるようにするもの。
- ・静脈産業でユースケースを設定、それに必要となる情報を特定し、“日本版電池パスポート”に対しAPI※を通じてリクエストする。
- ・それにより、情報セキュリティを維持しつつ、最低限の情報流通コストで産業間情報連携を社会実装、蓄電池の流通活性化、価値最大化を目指す。

※API：「Application Programming Interface」の略で、異なるソフトウェアやシステム間で機能やデータを共有するためのインターフェース

<実施体制図>

※【社名：赤字】→ 実証事業申請者

【社名：青字】→ 必要不可欠な協力事業者（補助を受けない協力先）

